

C251

押してあげる

保管及び取り扱い上の注意

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
2. 小児の手の届かない所に保管してください。
3. 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
4. 容器の中の詰め物は、破損防止用ですので開封後は捨ててください。
5. 吸湿しやすいため、服用のつど容器のキャップをしっかり閉めてください。
6. 使用期限の過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先
株式会社奈良大和生薬
お客様相談窓口

☎ 0120-005-189

受付時間 9:00~18:00(年中無休)

発売元 株式会社奈良大和生薬
奈良県奈良市二条大路南1-2-11
製造販売元 薬業化学工業株式会社
奈良県大和高田市旭南町2番25号

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構

http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)

販売名: 防風通聖散料エキス錠【準薬】 **第2類医薬品**
漢方製剤

効能・効果

体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの次の諸症:肥満症、高血圧や肥満に伴う動悸・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿症(副鼻腔炎)、湿疹・皮膚炎、ふきでももの(にきび)

用法・用量

次の量を食前又は食間に水又はお湯で服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
大人15歳以上	4錠	3回
15歳未満	服用しないでください	

- 定められた用法・用量を守ってください。
- 食間とは「食事と食事の間」を意味します。食後約2時間のことを行います。

成分・分量

大人1日の服用量12錠(1回4錠)中、次の成分を含んでいます。
防風通聖散乾燥エキス(1/2量)…1.52g

〈原生薬換算量〉

トウキ0.6g、シヤクヤク0.6g、センキュウ0.6g、サンシジ0.6g、レンギョウ0.6g、ハッカ0.6g、ショウキョウ0.2g、ケイガイ0.6g、ポウフウ0.6g、マオウ0.6g、ダイオウ0.75g、ポウショウ0.75g、ビャクジュツ1.0g、キキョウ1.0g、オウゴン1.0g、カンゾウ1.0g、セッコウ1.0g、カッセキ1.5g

添加物として乳糖水和物、セルロース、ケイ酸Al、ステアリン酸Mg、マクロゴール、カルメロースCaを含有する。

〈成分に関する注意〉

本剤は天然物(生薬)のエキスをを用いていますので、錠剤の色が多少異なることがあります。

AS4097230421

生活習慣などによる
肥満症を改善

肥満症

360錠 30日分

セルフメディケーション
税 控除 対象

肥満症

むくみ 便秘

飲んで効く漢方



体力充実して腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちな方の肥満症、肥満に伴うむくみ・便秘

360錠 30日分

セルフメディケーション
税 控除 対象

使用期限

製造番号



91927230421

日付を印刷

服用前にこの説明文を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管してください。

使用上の注意

⊗してはいけないこと

- (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)
1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。
他の瀉下薬(下剤)
 2. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。

⊗相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
(1) 医師の治療を受けている人 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人 (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人) (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人 (5) 発汗傾向の著しい人 (6) 高齢者 (7) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人 (8) 次の症状のある人 ①むくみ、排尿困難 ②次の診断を受けた人 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹部膨満、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛
精神神経系	めまい
その他	発汗、動悸、むくみ、頭痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足ののだるさ、しびれ、つかばり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。 下痢・便秘
4. 1ヵ月位(便秘に服用する場合には1週間位)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。